

令和3年度 第1回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会 会議録

- 1 日 時 令和3年11月8日(月) 15時から17時
- 2 場 所 大宮盆栽美術館 2階 講座室
- 3 出席者 (1) 委員(8名)(委員長、副委員長以下五十音順)  
小島孝夫委員長、大和田昌宏副委員長、池田伸子委員、澤田稔行委員、杉山史則委員(代理 本室晴美)、高嶋修一委員、板東博之(代理 林田泰明)、谷中智恵子委員  
(2) 事務局  
スポーツ文化局 大西局長  
文化部 野口部長  
大宮盆栽美術館 老川館長、山田盆栽管理官、岩崎副館長、石井係長、田口係長(学芸員)、中村主任(盆栽技師)
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内 容
  - (1) 開 会
  - (2) 委嘱式
  - (3) 挨拶 スポーツ文化局長
  - (4) 報 告  
令和3年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について 【資料1】
  - (5) 議 事  
令和4年度大宮盆栽美術館の主な事業について  
①展覧会事業等 【資料2】  
②リニューアルに向けた事業 【資料3】  
③オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館提携 【資料4】
  - (6) その他  
館内見学
  - (7) 閉 会

<議事内容要約>

報告 令和3年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について

事務局から資料1について説明。

事務局 大宮盆栽美術館の概要について意見をお願いしたい。

委 員 特になし。

事務局 報告については、終了とする。

議事① 令和4年度大宮盆栽美術館の主な事業について 展覧会事業等

事務局から資料2について説明。

委員長 展覧会事業等について意見をお願いしたい。

委 員 調査研究活動について、資料2では、Ⅰ展覧会事業、Ⅱ普及事業の下部に記載されています。調査研究活動については、展覧会事業や普及事業と並列に位置づけても良い

- と思いますが、美術館の考え方を教えていただきたい。
- 事務局 調査研究活動を、下部に位置づけて資料を作っている訳ではなく、運営委員会で承認をいただく内容として分かりやすさを意図しているものです。また、承認をいただいた内容について、Ⅰ 展覧会事業、Ⅱ 普及事業を担当している各職員に伝えやすいように整理しているものです。
- 委員 職員の配置や実際行っていく活動などに則して、分かりやすく整理していただいたという事がわかりました。
- 委員長 来年度から調査研究活動を積極的に実施していくという認識でよろしいでしょうか。
- 事務局 はい。補足として、Ⅰ 展覧会事業の調査研究活動とⅡ 普及事業の調査研究活動については、館内で言葉の使い方を統一していきたいと考えております。
- 委員長 さらに質問、意見ありますでしょうか。
- 委員 特別展の「Life with Bonsai～はじめよう、盆栽のある暮らし」（仮称）の具体的なアーティストを教えていただきたい。
- 事務局 具体的には、現在、2～3人を検討しております。本年度の4月、5月に展示をしていただいたミヤケ マイさんや、過去に当館で写真展を開催していただいた写真家、大和田 良さんなどを検討しております。またアーティスト同士の繋がりなどで数人名前が挙がっております。基本的には、盆栽への愛着が深く、アーティスト、デザイナー、経済人などで、それぞれの盆栽の見方を提示できる方を検討しております。
- 委員長 他に質問、意見ありますでしょうか。
- 委員 コロナ禍前と同じくらいの事業量なのでしょうか。
- 事務局 展覧会事業については、開館当初は多くの企画展等を実施しておりましたが、調査研究活動を充実させるための時間を確保するため、館の計画として減らしております。普及事業については、基本的には変わっておりませんが、不定期の講座等については、企画展等の数の減少により減っております。展覧会の回数はコロナ禍の影響に限らず減らしており、コロナ禍による減少というものはございません。
- 委員長 他に質問ありますでしょうか？
- 委員 特になし。
- 委員長 それでは、展覧会事業等について、修正等の意見はありませんでしたので、原案のとおり承認されました。

## 議事② 令和3年度大宮盆栽美術館の主な事業について リニューアルに向けた事業

- 事務局から資料3について説明。
- 委員長 リニューアルに向けた事業については、何を諮れば良いかお伺いしたい。
- 事務局 計画を策定するにあたり、事前の審議・承認をいただきたい。
- 委員長 それでは、質問、意見ありますでしょうか。
- 委員 大宮盆栽美術館を拠点とした将来的なまちづくりの視点を持ったビジョンを策定していただきたい。
- 事務局 美術館を拠点としたエリアのビジョンとして策定していきたいと考えております。
- 委員長 さいたま市が策定中の文化財保存活用地域計画に盆栽村や盆栽を位置づけて、リニューアルに向けた事業と合わせて相乗効果が期待できるよう実施していただきたい。他に何かありますでしょうか。
- 委員 盆栽学という言葉がありますが、具体的にどのような事を考えているのでしょうか。

- 事務局 盆栽学会を作っはどうかというアイデアです。敷居の高い学会ではなく、盆栽を好きな方に入っはいただき、研究発表会などを実施するゆるやかな学会をイメージしています。そういう活動が普及していけば、盆栽文化が定着していき、ひいては盆栽村が聖地となっはいくのではないかと考えております。
- 委員 必ずしも研究者だけでなく作家や愛好家が糾合して調査研究を進めていくようなイメージでしょうか。
- 事務局 そのとおりで。ただし、マンパワーや敷地なども現状では足りないのでリニューアルに向けた計画の中で検討しております。
- 委員長 盆栽学については、評価していただける内容だと思ひます。私からも質問してよろしいでしょうか。地球温暖化や異常気象が盆栽に与える影響について何かお考えがありますでしょうか。
- 管理官 盆栽はグローバルになり、愛好家は広範囲になりました。ただ、現代は盆栽の培養は難しくなっはきております。
- 委員長 他に意見ありますでしょうか？
- 委員 さいたま市民が1人1鉢盆栽を持っはと、これだけCO2が減らせまっはとか、盆栽とSDGsを結びつけるなど、だれが見ても分かりやすいキャッチーなものがあると良いと思ひます。
- 委員 環境問題については、植竹小学校で差し木を行うなどの取組を行っはしております。
- 委員長 他に質問ありますでしょうか？
- 委員 リニューアルは100周年を目指しているのでしょうか。
- 事務局 100周年は1つの節目となります。今回のリニューアル計画は、美術館の理想像を策定するものです。
- 委員長 ありがとうございます。具体的には来年度計画を策定するという事で、盆栽美術館が目指す方向性について説明をいただきました。リニューアルに向けた事業等について、修正等の意見はありませんでしたので、原案のとおり承認されました。

議事③ 令和3年度大宮盆栽美術館の主な事業について オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館提携

- 事務局から資料4について説明。
- 委員長 オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館提携について意見をお願いしたい。
- 委員 特になし
- 委員長 オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館提携について、修正等の意見はありませんでしたので、原案のとおり承認されました。予定していた報告、審議内容はすべて終了いたしました。

## 令和3年度 大宮盆栽美術館展覧会事業等について

令和3年10月20日現在

## 1 展覧会事業

- (1) 通常展 40週  
 (2) 企画展 5回  
 (3) 特別展 0回

通常展・企画展・特別展一覧

単位：人

	展覧会名	開催期間	開館日数	入館者数	1日平均
1	通常展 季節の展示「盆栽展 四季」	40週	239	—	—
2	通常展 歴史と文化「盆栽クロニクル—年代記—」 会期①・②：所蔵品展 会期③：大宮盆栽村100周年に向けた研究展示	①4月2日（金）～ 6月30日（水） ②9月18日（土） ～11月17日（水） ③2月5日（土）～ 3月30日（水）	①70 ②54 ③47	①6,706 ②— ③—	①95 ②— ③—
3	「さいたま市民の日」記念企画展「第6回「世界盆栽の日」記念・「さいたま国際芸術祭Since2020」コラボレーション展 ×須田悦弘・ミヤケマイ」	4月23日（金）～ 5月19日（水）	25	3,558	142
—	企画展「さつき盆栽展」【出品者都合により中止】	6月4日（金）～ 6月13日（日）	—	—	—
—	特別展「ニッポンの盆上芸術2021—盆栽・水石・盆石・盆景」【出品者都合により中止】	7月17日（土）～ 8月25日（水）	—	—	—
4	企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」	7月17日（土）～ 9月1日（水）	42	2,915	69
5	企画展「山水涼景～水石の世界」 ※特別展の中止に伴い実施	7月16日（金）～ 8月11日（水）	25	2,382	95
6	企画展「第30回 作家展（日本盆栽作家協会）」（共催）	11月5日（金）～ 11月24日（水）	18	—	—
7	企画展「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」	12月4日（土）～ 1月19日（水）	36	—	—

## 2 普及事業

- (1) 定例講座

単位：人

期 日	内 容	講 師	受講料	参加者数
第3日曜	オンライン盆栽ワークショップ～はじめての盆栽づくり (全12回、定員5人、Zoom)	外部講師	3,000円	37(7回)

第3日曜 (7、8月除く)	オンライン子ども向けワークショップ～ はじめての盆栽づくり (全10回、定員5組10人、Zoom)	外部講師	3,000円	40(4回)
第4土曜	盆栽実技 (全12回、定員10人、10月 から20人) ※4・5月は中止	外部講師	無料	32(4回)
第1日曜・ 第3土曜	オンライン・スライドトーク(全15回、 Youtubeライブ生配信) ※7月から実施。1月から、ハイブリッド 型を計画。	学芸員 外部講師	無料	186(8回)

(2) 特別講座

単位：人

期 日	内 容	講 師	受講料	参加者数
5月1日(土)	オンライントークイベント 須田悦弘・ミヤケマイ(定員50人、Zoom)	須田悦弘 ミヤケマイ	無料	69
7月31日(土)～8 月3日(火)	オンライン夏休みワークショップーこけ 玉盆栽づくり(全4回、定員各10人、Zoom)	外部講師	2,000円	90
11月13日(土)	第30回作家展記念オンライン・デモン ストレーション(Youtubeライブ生配信)	外部講師	無料	—
11月20日(土)	第30回作家展記念オンライン講演会 (Youtubeライブ生配信)	外部講師	無料	—

(3) 学校連携

単位：人

期 日	内 容	講 師	受講料等	参加者数
通年・随時	小学校校外学習受入れ (18校、全59クラス) 【3校中止】	職員	免除	2,059 (予定)
11月、3月 【9月中止】	小学校出張盆栽授業(市立城南小学校)	外部講師 職員	—	50
11月、1月 【9月中止】	出張盆栽授業(県立大宮ろう学園)	外部講師 職員	—	28

(4) 盆栽文化、盆栽づくり等に関する出張講義・講座

単位：人

期 日	内 容	講 師	受講料	参加者数
通年・随時	公的施設ほか	職員	無料 又は 有料	66 (2件)

## (5) 各種イベント事業

単位：人

期 日	内 容	講 師	参加料	参加者数
7月22日(木祝) ～9月5日(日)	ゆかた de 盆美	—	無料	44

## (6) 館外イベント出展事業(アウトリーチ活動)

単位：人

期 日	イベント名称	場 所	内 容	観覧者数
6月1日(火)～6 月30日(水)	中央区役所盆栽写真展	中央区役所食堂 棟(区民ギャラリー ー)	当館所蔵盆栽の写真展	2037
7月20日(火)～8 月10日(火)	展示ブース設置	パレスホテル大 宮	パネル展示	—
8月10日(火)～8 月30日(月)	展示ブース設置	ロイヤルパイン ズホテル浦和	パネル展示	—
8月14日(土)	2021 オレンジサマーカー ニバル	NACK5 スタジ アム大宮	パネル展示、チラシ配架、 景品引換(ガラガラ)	3333※
※はイベント全体の来場者数			合計	5370

## (7) その他

単位：人

期 日	内 容	担 当	参加料	参加者数
通年・随時【休止】	団体来館者対応ガイド	ボランティア 学芸員	観覧料	—
毎週月曜【休止】	Welcome Monday	ボランティア	観覧料	—

## 3 さいたま国際盆栽アカデミー

単位：人

コース	担 当	参加料	参加者数
日本人向け初級コース(2クラス、全8回) (中級・上級コース【中止】)	外部講師・学芸員	22,000円	10
外国人向け初級・中級・上級コース【休止】	外部講師・ボランティア	—	—

## 令和4年度 大宮盆栽美術館の主な事業について

## I 展覧会事業

## 通常展、企画展、特別展一覧

No	G	企	展覧会名	期間
1	○		通常展 季節の展示「盆栽展〈四季〉」	34週
2		○	通常展 歴史と文化「盆栽クロニクルー年代記ー」 会期①・②：所蔵品展、特別展特集展示 会期③：大宮盆栽村100周年に向けた研究展示	①4月16日（土） ～6月29日（水） ②9月17日（土） ～11月23日（水祝） ③2月4日（土） ～4月5日（水）
3	○		企画展「さつき盆栽展」	5月27日（金） ～6月5日（日）
4		○	企画展「夏休み子どもぼんさい美術館」	7月16日（土） ～8月31日（水）
5	○		企画展「山水涼景～水石の世界」	7月22日（金） ～8月17日（水）
6	○		企画展「盆景展」（仮称）	8月19日（金） ～9月7日（水）
7	○		企画展「盆石展」（仮称）	9月9日（金） ～9月21日（水）
8	○	一部	特別展「Life with Bonsai～はじめよう、盆栽のある暮らし」（仮称）	10月14日（金） ～11月9日（水）
9	○		五葉松「日暮し」特別展示 ※特別展に組み入れ	11月3日（木祝） ～11月9日（水）
10	○		企画展「第31回 作家展（日本盆栽作家協会）」（共催）	11月11日（金） ～11月30日（水）
11		○	企画展「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」	12月10日（土） ～1月18日（水）

※ G：コレクションギャラリー／企：企画展示室

## 1 通常展の概要

## (1) 盆栽等展示ゾーン「季節の展示」

- ・会場 コレクションギャラリー、盆栽庭園
- ・内容 季節感を重視し、盆栽、盆器、水石等の所蔵品を主に紹介する展示  
○「盆栽展〈四季〉」コレクションギャラリー

## (2) 盆栽以外の資料等展示ゾーン「歴史と文化」

- ・会場 企画展示室

- ・内容 盆栽及び盆栽村の歴史と文化を紹介するパネル展及び資料展示
  - 「盆栽クロニクルー年代記ー」
    - 初夏、秋：所蔵品展／春：大宮盆栽村 100 周年に向けた研究展示

## 2 企画展の概要

- (1) 「季節の展示」ゾーン
  - ①季節感を念頭に、当館所蔵品には少ない樹種等の特集展示
    - 「さつき盆栽展」
  - ②盆栽と関連する盆上の縮景表現“盆上芸術”の構築、紹介
    - 「水石展」、「盆石展」に加え、R4 年度は「盆景展」を開催。
  - ③地域の盆栽グループ、日本盆栽協会等との共催展
    - 「第 31 回 作家展（日本盆栽作家協会）」
- (2) 「歴史と文化」ゾーン
  - ①子ども向け展示（夏季、冬季）
    - 「夏休み子どもぼんさい美術館」（夏休み）
    - 「子どもたちに伝えたい さいたまの盆栽」（冬休み）

## 3 特別展の概要

- (1) 概要 主に外部団体等からの借用による大規模な展覧会（年度 1 回）
  - 概ね、年度ごとに盆栽又は資料系展覧会を交互に開催
- (2) 令和 4 年度（盆栽系）
  - 「Life with Bonsai～はじめよう、盆栽のある暮らし」（仮称）
    - 会期：10 月 14 日（金）～11 月 9 日（水）
    - 会場：コレクションギャラリー、企画展示室（一部）
    - その他：図録作成、関連イベント 4 回
    - 主な内容：
 

With コロナ期をとおして改めて注目を浴びる生活文化としての盆栽愛好について、After コロナ期において比較的若い世代の注目を集めるため、盆栽とともにある魅力的な暮らしのスタイルを展覧会形式で提示する試み。盆栽を愛好するアーティストやデザイナー等をゲストキュレーターとして招き、コレクションギャラリーの各ブース及び座敷を“一席持ち”の担当として、各人の盆栽のある暮らしをテーマに盆栽及び関連する品々を飾り付けて紹介する。また、企画展示室の一部を会場とし、一般愛好家の盆栽との暮らしをテーマとした写真パネル展や、姉妹館提携先をはじめ海外の盆栽愛好家の様子を紹介する。



#### 4 調査研究活動

- ・大宮盆栽村の開村 100 周年記念事業（R7 年度 2025）に向けた、村の歴史と文化について
- ・所蔵盆栽の来歴について
- ・盆栽の技術史について
- ・海外における盆栽関連書籍・盆栽関連団体について

## II 普及事業

### 1 定例講座（4 講座）

- |             |                               |
|-------------|-------------------------------|
| ・盆栽ワークショップ  | 第 3 日曜・1 回（定員 10 人、ハイブリッド型対応） |
| ・子どもワークショップ | 第 3 日曜・1 回（定員 10 人、ハイブリッド型対応） |
| ・盆栽実技       | 第 4 土曜・1 回（定員 20 人、ハイブリッド型対応） |
| ・スライドトーク    | 第 1 日曜、第 3 土曜・各 1 回（ハイブリッド型）  |

### 2 特別講座（不定期講座）

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| ・GW 特別盆栽実技      | 5 月 3 日（火祝）～5 日（木祝）  |
| ・「世界盆栽の日」記念盆栽実技 | 5 月 14 日（土）（ハイブリッド型） |
| ・剪定ワークショップ（新）   | 6 月                  |
| ・夏休み子どもワークショップ  | 7 月下旬～8 月下旬          |
| ・針金掛けワークショップ（新） | 11 月                 |
| ・植え替えワークショップ    | 3 月                  |
| ・出張講座、講演        | 随時                   |
| ・団体ガイド          | 随時（主にボランティアによる）      |

### 3 学校連携事業

- ・小学校見学対応ガイド（バス借上げ事業、ボランティア対応を含む）
- ・市内小学校との連携授業
- ・未来くるワーク、教員研修、高校・大学等インターン、博物館見学実習の受入れ

### 4 ボランティア育成、運営

#### (1) 登録者

30 人（令和 3 年度）※令和 4 年度 3 月に継続意向調査及び若干名を募集。

#### (2) 活動内容

- ・団体ガイド

- ・ 学校見学ガイド
- ・ GW 特別ギャラリーツアー
- ・ Welcome Monday（月曜限定の個別ガイド）
- ・ 各種ワークショップの補助
- ・ 各種イベントの実施、補助
- ・ ボランティア研修（自主研修、グループワークによる調査、多言語研修等）

## 5 さいたま国際盆栽アカデミー中級修了者の会

### (1) 登録者

50人 ※令和元年2月22日発足後、活動休止中。

### (2) 予定内容

- ・ さいたま国際盆栽アカデミーの補助
- ・ 植え替えデー等の普及事業の補助
- ・ 館外での普及イベント

## 6 調査研究活動

- ・ 小学校見学対応プログラム及び学校連携授業プログラムの作成
- ・ ボランティアによる安心安全な団体ガイド及び学校見学対応方法の検討、計画
- ・ With/After コロナ期に対応した学校見学リーフレットの作成
- ・ ICTを活用した普及事業の検討、計画
- ・ 盆栽づくりに関する小冊子の検討、計画

## Ⅲ さいたま国際盆栽アカデミー

### 1 日本人向け初級コース

講座数	全9回 内訳：基本講座6回、共通講座3回 ※「共通講座」は初・中・上級共通の講座
開催時期	令和4年6月～令和5年3月
クラス数	2クラス
定員	10名（1クラス5名）
実施方法	講義：Zoomを利用したオンライン
	実技：感染防止対策の上で、対面で実施
その他	緊急事態宣言等により対面での実施が困難となった場合は、オンラインに切り替えて実施する。

## 2 日本人向け中級コース

講座数	全 11 回 内訳：基本講座 8 回、共通講座 3 回
開催時期	令和 4 年 6 月～令和 5 年 3 月
クラス数	2 クラス
定員	10 名（1 クラス 5 名）
実施方法	講義：Zoom を利用したオンライン 実技：感染防止対策の上で、対面で実施
その他	緊急事態宣言等により対面での実施が困難となった場合は、オンラインに切り替えて実施する。

## 3 日本人向け上級コース

講座数	全 13 回 内訳：基本講座 10 回、共通講座 3 回
開催時期	令和 4 年 7 月～令和 5 年 3 月
クラス数	2 クラス
定員	10 名（1 クラス 5 名）
実施方法	講義：Zoom を利用したオンライン 実技：感染防止対策の上で、対面で実施
その他	緊急事態宣言等により対面での実施が困難となった場合は、オンラインに切り替えて実施する。

## 4 外国人向け中級コース

内容	大宮盆栽村盆栽園による講義・実技
講座数	全 1 回 ※1 回 2 時間程度
開催時期	令和 4 年 9 月～令和 5 年 3 月 ※事前予約制
開催数	2 回（1 回 1 組）
定員	2 組（1 組 30 名未満）
実施方法	感染防止対策の上、対面で実施
その他	感染拡大等により実施が困難となった場合は、中止する。

## 5 外国人向け上級コース

内容	大宮盆栽美術館における培養管理の現地研修
開催時期	令和 4 年 9 月～令和 5 年 3 月（要相談）
期間	1 週間～1 か月程度（要相談）
対象	姉妹館提携先職員
定員	1～2 名
実施方法	感染防止対策の上、対面で実施
その他	感染拡大等により実施が困難となった場合は、中止する。

# 令和4年度大宮盆栽美術館の主な事業について

## リニューアルに向けた事業

### ■ リニューアルの必要性

盆栽文化の振興・発展のための「盆栽学」確立

- ・学問としての「盆栽」を確立するために、調査研究を行う学芸体制の充実が必要である。

日本文化としての盆栽の位置づけ

- ・盆栽だけではなく、座敷飾りや庭園と一体になった展示が求められるようになっている。
- ・庭園や池のつくりに対して、より充実を求め声が寄せられている。

体験型コンテンツのニーズ

- ・鑑賞だけではなく、盆栽づくりなどの体験を求め来館者が増えており、美術館としての教育普及機能の充実が求められている。

市民との協働の推進

- ・将来、美術館運営の一翼を担えるよう、既存のボランティア組織を強化する必要がある。

周辺の市有地・県有地の活用

- ・盆栽村内に点在する市有地の活用が期待されている。
- ・令和2年7月、大宮盆栽協同組合から市長と県知事に対して、自治人材開発センター敷地の活用に関する要望書が提出された。



ソフト・ハード両面からリニューアルを図り、これからも  
日本、そして世界における盆栽文化の中心施設であり続ける



# 令和4年度大宮盆栽美術館の主な事業について リニューアルに向けた事業

## 盆栽振興の拠点施設として必要な機能等の調査・研究【令和3年度】

<p>■ 展示・収蔵機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 気象変化に対応できる収蔵庫</li><li>▶ より魅力的な展示空間や、ICTを活用した展示が可能なギャラリー</li></ul>	<p>■ 盆栽培養管理の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 所蔵盆栽の増加や、気象変化に対応できる盆栽培養場</li></ul>
<p>■ 来館者満足度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 常に盆栽づくりを体験できるスペース</li><li>▶ 飲食できるスペース</li><li>▶ 美術館グッズと、周辺盆栽園と連携した盆栽販売スペースの整理</li></ul>	<p>■ インバウンド対策</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 国内外から評価される盆栽庭園</li><li>▶ 外国人に喜ばれるコンテンツの導入</li></ul>
<p>■ さいたま国際盆栽アカデミーの充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ さいたま国際盆栽アカデミー専用の実習場</li></ul>	<p>■ 迎賓機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶ 国際的な美術館として必要な迎賓機能</li></ul>

盆栽振興の拠点施設としてふさわしい大宮盆栽美術館のあるべき姿を実現する  
リニューアル計画を策定【令和4年度】

以降、順次リニューアルを実施

# 令和4年度大宮盆栽美術館の主な事業について リニューアルに向けた事業

## ■例えば、盆栽庭園のリニューアルについては、

- ▶展示盆栽をより引き立たせる庭園 ▶より外国人に好まれる景観 ▶夜間照明の設置
- ▶池の水質の改善 ▶庭園のリニューアルについては、100周年までの実現に向け検討したい。

池の改修

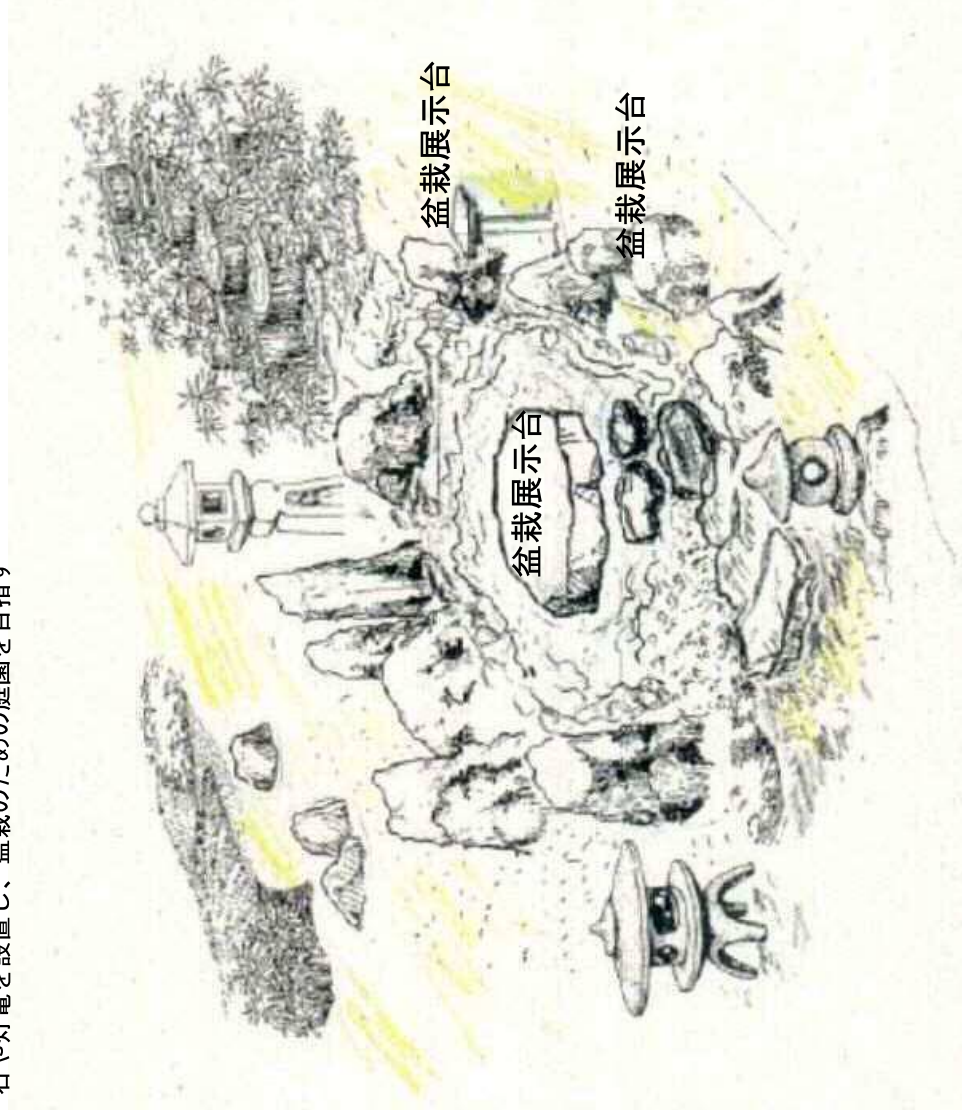
地面を掘り下げ、池や盆栽を見下ろす構造に  
石や灯籠を設置し、盆栽のための庭園を目指す



開館当時  
夏場の高温が樹の負担となっていた



平成24年度 緊急整備（池の設置）  
水蒸気量を多くすることで、樹の育成しやすい環境に  
地上に立ち上がった池のため、藻が多量に発生し悪臭等の原因になっている



※イラストはイメージです。

# 令和4年度大宮盆栽美術館の主な事業について

## リニューアルに向けた事業

### 基礎調査の整理

さいたま市大宮盆栽美術館のリニューアルに向けた基礎調査

### 「世界から見た盆栽の聖地」化に向けて 4年後の100周年に向けたロードマップを描く

- ① どういう美術館に生まれ変わりたいか、何を残したいかを知る。
- ② 来館者にとって居心地の良い・お金を落とすとしたくなる機能を付加する。
- ③ 海外客誘引のためのPRコンテンツの方針を探る。
- ④ 美術館を中心に、「盆栽をテーマとした地域活性化未来予想」を描く。

#### 施設ブランディングに対する調査

- ・盆栽庭園の改修についての検討
- ・盆栽づくりを体験できるスペースの設置検討
- ・ギャラリーの改修についての検討
- ・飲食可能なスペースの検討
- ・お土産販売スペースの設置検討
- ・迎賓機能の設置検討

#### 栽培環境向上に対する調査

- ・盆栽培養所の拡張の検討
- ・国際盆栽アカデミー実習場建設検討
- ・収蔵庫の改修検討
- (・盆栽庭園の改修についての検討)

#### 情報発信に関する調査

- ・インバウンド向けコンテンツ導入検討
- (・ギャラリーの改修についての検討)
- (・お土産販売スペースの設置検討)

#### 【調査作業・成果】

盆栽園や学識経験者、民間企業などへのヒアリング3回以上の実施がマスト  
ヒアリングを踏まえて、空間、内装、レイアウト等のイメージ画を作成



## 令和4年度大宮盆栽美術館の主な事業について

### オーストラリア・キャンベラ樹木園との姉妹館提携

#### 1 オーストラリア・キャンベラ樹木園とは

オーストラリア首都特別地域政府の組織に位置づけられた樹木園。年間50万人以上の訪問者が訪れ、44,000本の絶滅の危機に瀕した象徴的な樹木が植えられている。

また、園内には盆栽と盆景のコレクションが一般公開されている。



#### 2 姉妹館提携宣言書への調印について

令和元年度に視察・協議のため訪問し、令和2年度の調印について検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により滞っていた。

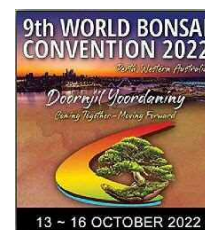
現在、オーストラリア・キャンベラ樹木園とは、来年度に開催される「第9回世界盆栽大会」での訪豪のタイミングでの調印や、オンラインでの調印について協議している。



第9回世界盆栽大会

日程 令和4年10月13日(木)～16日(日)

場所 オーストラリア パース



#### 3 姉妹館提携後の事業

- ・インターンシップの受入や学芸員、盆栽技師の派遣を行い、盆栽の培養管理技術や美術館運営などの技術・情報交換を行う。
- ・「盆栽文化の共同研究」や「所蔵資料の相互貸与」などを行い、成果を展覧会や講演会などを通じて市民に提供する。
- ・広報PRについて協力し、情報発信を強化する。